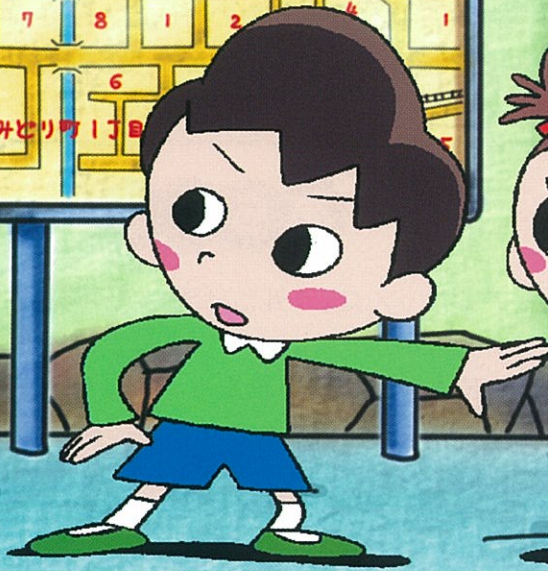


誘拐防止アニメーション



きみなら どうする？

# ゆうかい・いたずら されないうために



上映時間 13分

[C#2212]

16ミリ版 136,500円(本体130,000円)

ビデオ版 63,000円(本体 60,000円)



監修

立正大学 文学部社会学科  
教授 小宮 信夫



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17  
<http://www.toei.co.jp/edu/>





## 企画意図

子どもが被害に遭う凶悪犯罪が社会問題になっています。家庭、地域、学校でも様々な防犯活動に取り組んでいますが、依然として痛ましい犯罪は後をたちません。

そこで、自分自身で危険から身を守るための方法を、小さな子どもにも理解できるよう、わかりやすいアニメーションで描きました。子どもたちと観て、一緒に話し合い考えてみてください。

## あらすじ

今度、小学1年生になるアイちゃんは、「外には悪い人が多くて怖い」と言って泣いている。そこに町の案内板が変身したマップ君が現れる。マップ君は、アイちゃんを乗せて町を飛びながら、いたずらや誘拐をされないために大切なことを教える。町には色々な人がいるが、「悪い人」を見つけ出すのは難しい。優しそうな人が、悪い人かもしれない。見た目だけではわからない。

自分を守る一番の方法は、危ない場所に近づかないこと。危ない場所というのは「かくれんぼ」で隠れるのにちょうどいい場所のこと。

たとえば公園のトイレは、悪い人が隠れていて連れ去られたり、いたずらされるかもしれないから危険。路上駐車が道では、車の中や後ろに隠れていて連れ込まれるかもしれないから車から離れて歩いた方がいい。高い塀がある道も周囲の家から盲点になるので危ない。悪い人は見つかりたくないからかくれんぼにうってつけの場所が好きなんだ。そういう場所には、一人で行かないことが大切だ。

マップ君に注意信号が点滅。そこに向かうと、アイちゃんの友だちのクーちゃんが知らないおばさんに話しかけられている。「大変、お母さんが事故。急いで病院に行きましょう！」でも、クーちゃんは、おばさんと一緒には行かなかった。クーちゃんはたとえ知っている人でもついて行っちゃダメ！と両親と約束していた。

マップ君にまた、注意信号が点滅。参道を歩いているカイちゃんが、知らないお兄さんからコンビニの場所を聞かれていた。お兄さんは好きなものを買ってあげるから案内してとカイちゃんに言っていた。即座にカイちゃんは「助けて！」と全速力で走り出した。カイちゃんは知らない人と話すときは近づかないで、離れて話をする。急に襲ってきても逃げることができるからと教えてくれた。

マップ君は、カイちゃん・クーちゃんたちが家のまわりでも用心している事を教える。玄関の戸を開ける時も悪い人がいないことを確認してから開けるように用心している。マンションの駐車場、自転車置き場、エレベーターも注意が必要だ。もしも、知らない人が一緒に乗ろうとしたら乗らないようにしている。

休みの日など、おうちの人と町を歩いて一緒に危険な場所をチェックしておこう。また、「こども110番の家」のマークが付いている家は安全な場所として覚えておこう。危険を感じた時、助けを求めても大丈夫な場所を覚えておくことも必要だ。

誘拐やいたずらをされないために、危ない場所に近づかないこと、一人にならないことをしっかりと守ろう。

プロデューサー・・・鎌田 幸人  
尾崎 正善

監督・絵コンテ・・・日下部光雄  
脚 本・・・半谷 守廣

アニメーション制作協力・・・スタジオ・ザイン

企画・制作・・・東映株式会社 教育映像部

2006年作品

S

関東営業推進室 東京都中央区銀座3-2-17 〒104-8108 ☎03-3535-3631

関西営業推進室 大阪市北区梅田1-12-6 〒530-0001 ☎06-6345-9026

広島出張所 広島市中区八丁堀16-10 〒730-0013 ☎082-511-2066

高松出張所 高松市本町11-7 〒760-0032 ☎087-851-3766

福岡出張所 福岡市博多区中洲4-3-18 〒810-0801 ☎092-262-3101

●お買い上げは……